

みんなに優しいまち長田の未来ガイド誌

【ナンナン】

nan nan

どうして、いつから、「くつのまち」？
その始まりから行方まで
ドラマチックに探訪！

くつのまち
ながた
特集号



MADE IN NAGATA, KOBE

KOBE CITY NAGATA WARD

<http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/nagata/>

- 2-3 くつのまち長田ヒストリー
～これまで、そして未来へ～
- 4-5 神戸シューズ
- 6-7 健康とくつ
- 8-9 健康とくつ
- 10-11 職人達の取り組み
～ひとつの靴ができるまで～
- 12-13 くつのまちながたMAP

ケミカル戦隊シューファイターが くつのまち長田を徹底解剖!

長田の靴産業を守るために敢然と立ち上がった3人のヒーローたちが靴と長田の関わりを分析。
その歴史をはじめ、新しい取り組みである「神戸シューズ」、足元からの健康づくり、
確かな技術で育まれてきた製造工程をご紹介します!



シューズプラザ くつのまちながた



見て、買って、学べる長田のシンボル
くつのまち長田を代表するシューズメーカーの
直営ショップなどが入るくつ専門ビル。
直営ならではのファクトリーセールを常時開催し、
足にジャスフィットするオーダー靴工房も完備。
地域内外の人・文化・産業等の交流、
ふれあい活動を通じ、まちづくりの拠点にもなっている。



シューズプラザ 神戸市長田区細田町7-1-9
TEL.078-646-5266
URL/ <http://www.shoesplaza.co.jp/>



ピーサン・ブルー ビジネス・レッド ヒール・イエロー

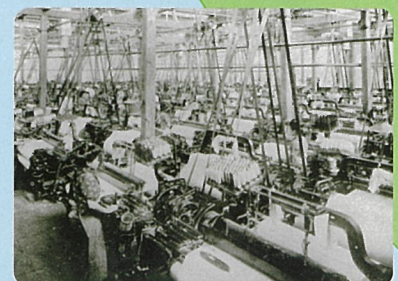
2014年秋にデビューした地場産業活性化ヒーロー

「ケミカル戦隊・シューファイター」

新長田を拠点にイベント出演や映像作品を通して「靴の街神戸」のPR活動中

(C) 神戸鉄人プロジェクト

くつのまち長田ヒストリー
～これまで、そして未来へ～



鐘紡織布試験工場
●鐘紡(株)「鐘紡百年史」より



神戸ダンロップ護謨生産工場
●住友ゴム工業(株)「住友ゴム八十年史」より

昔の長田南部の
土地特性
(旧林田地域)
●広大な原野
●兵庫運河計画など
運輸の利便性
●港が近く、工業用水の
確保が容易

明治27年(1894)
鐘紡が
進出を決意

産業立地としての
価値が見い出される
様々な産業が
長田に進出

明治42年(1909)
神戸ダンロップ
護謨(株)設立

ゴム産業の発展
大正3年(1914)
第一次世界大戦
急速なゴム需要
景気上昇
海外労働力の流入

1920年代次々と
ゴム工場が設立
全盛時代へ
昭和2年(1927)
ゴム工業組合設立
昭和4年(1929)
ゴム連合会設立

昭和7年(1932)
販売競争激化
ゴム底靴価格下落
昭和13年(1938)
ゴム配給
統制規則などで
操業縮小、工場閉鎖

コスト高の
長田は危機



明治末期マッチ工場風景
●神戸市立博物館所蔵

明治10年(1877)～
長田(神戸)に
マッチ産業が進出
マッチ工場の始まりは
神戸監獄だと
言われています

イオウを使用
各工程は単純作業で
低賃金での女性や年少者が
家事や学校の合間に
多く作業していました

盛んだったマッチ製造は、
昭和期に入ると国際競争に
敗れて衰退。
可燃物を扱っていた工場は、
イオウがゴムの強化剤として
使われること等から
ゴム産業へ移行していきます。
また働き方の基盤も
継承されました。

経営者は
ゴム産業へ移行
昭和初期
神戸のマッチ産業は
飾磨郡、淡路島に移り
急速に減少

ゴム工業勃興の
地と言われる
1930年～
布製ゴム底靴
輸出全盛

昭和20年(1945)
第二次世界大戦
敗戦で多大な被害
生ゴムの統制解除
他地域の大資本が
低コストで大量生産

History of Shoes Town NAGATA

昭和31年(1956)
神戸市優良ゴム
製品展示会
神戸市が
ケミカルシューズを有力な
地場産業として取り上げる
昭和32年(1957)
ケミカルシューズ
工業会設立
(現・日本ケミカル
シューズ工業組合)
昭和35年(1960)～
ケミカル産業の
国内外の需要が
最盛期に

昭和27年(1952)
ケミカルシューズ
長田で誕生

主要輸出国のアメリカでは
当時発展途上の台湾・
韓国の進出で立場が逆転
昭和47年(1972)
オイルショック
急速な内外需要の
伸び悩み

輸出から内需へ
目を向ける

バブル時代
生産額増加

バブル崩壊
生産額減少
安価な海外製品流入

平成7年(1995)
阪神・淡路
大震災

平成12年(2000)
シューズプラザ
新長田にオープン



ケミカルシューズの生産
●神戸市文書館所蔵

次のページから
それぞれの
取組みを詳しく
みてこう



くつのまち長田の取組み

- 神戸シューズって?
- 健康を考えたくつ作り
- くつ職人たちの確かな技術



神戸シューズ®

神戸シューズとは

長田を中心としたメーカーが加盟する日本ケミカルシューズ工業組合は「神戸シューズブランド化委員会」を結成、「神戸シューズ」が地域団体商標として登録されました。現在、「くつのまちながた神戸(株)」のプロデュースにより、百貨店での販売、ファッションショーやフェアへの出展、web販売による全国展開などで、その魅力を多彩に発信しています。

「神戸シューズ」のコンセプト

- 原産地が神戸 made in KOBE ●神戸らしいデザイン性とファッション性 ●安心・安全の高い機能性
- 「神戸シューズブランド化運営委員会」により定めた品質基準をクリア

神戸シューズ公式通販サイト 検索 URL/ <http://www.rakuten.co.jp/kobeshoes/>

大丸松阪屋百貨店とのコラボで「神戸シューズ」を全国へ

長田の高い技術に裏打ちされた機能性と、神戸の豊かなファッション性を兼ね備えた「神戸シューズ」に大丸松阪屋百貨店が着目。平成24年(2012)3月に大丸神戸店で期間限定の「神戸シューズ」催事を開催、現在は京都店、札幌店、松阪屋名古屋店に拡大しています。平成26年(2014)8月からは大丸松阪屋百貨店のプライベートブランド「Dixsept Dixsept」とのコラボレーションで、全国主要店舗で販売されるようになりました。



女子の憧れ、あの、神戸コレクションに出ました!

「KOBE COLLECTION」は「明日着たい服」をテーマに、2002年8月、日本初のリアルクローズファッションイベントとして誕生。テレビ・雑誌・インターネットなどを通じて若い女性に絶大なる支持を得ています。2014年秋・冬コレクションに初めて出展。「神戸シューズ」がランウェイにカラフルな彩りを添えました。



(C) 神戸コレクション制作委員会

三宮センター街を鮮やかに彩るファッションイベント「SANNOMIYA COLLECTION」でのブース展示などでも「神戸シューズ」の魅力をより広くアピールしています。

確かな職人技から生まれる日本人にフィットする靴を発信



日本ケミカルシューズ工業組合
理事長 正木 貞良

長田は、ケミカルシューズ発祥の地と言われています。昭和30年代後半には、全国生産足数の約8割を占めました。しかし、阪神淡路大震災による大打撃や中国をはじめとする海外からの廉価な靴の流入で生産足数は震災前の2分の1以下にまで減少しました。危機感を抱いた若手を中心に、廉価な海外製品と差別化するため「神戸シューズ」の地域団体商標取得に向け、神戸シューズブランド化事業に着手し、8年かかりましたが平成26年3月7日付で認可され、靴業界では全国で初めて登録されました。ファッション性に加えて、日本人の足に合った安心・安全な靴を生産し、日本の靴市場における「Made in Japan」の復権を目標に、全国に「神戸シューズ」の魅力を発信していきたいと思っています。

日本ケミカルシューズ工業組合 神戸市長田区大橋町3-1-13 TEL.078-641-2525
URL/ <http://www.csa.or.jp/index.htm>

100% made in

震災後の海外攻勢に危機を感じる

新井 「神戸シューズ」の誕生は、阪神淡路大震災と、その後の海外攻勢に非常に苦労したのがきっかけです。長田にあった226社のメーカーが110社に減って、長田がしぼんでしまいそうになった。20年前は40歳でしたし、まだまだやる気満々でした。

平成17年、120~130社で安定している時期でしたが、このままいくと地場産業が中国にやられてしまうのではという不安から、若手経営者が中心となり旗揚げしました。

新良 「神戸シューズ」ですか?

新井 まだまだ、そんな名前は出てなかった。平成18年に地元の県会議員から、地域団体商標という制度が、新たに設けられることを教わりました。当時副理事長だったものだから、長田のメーカーとしてなんとか確保したいと。平成19年に「神戸シューズ」の名前を初めて出して、国産の靴をブランディングしたい、ブランド化委員会を立ち上げたいという話をしたんです。

地域団体商標登録にチャレンジ

新井 当時の理事長から「若い人に任せるので、是非、話を進めて欲しい」ということで、2代目、3代目に集まっていた。しかし何から手を着けていいかわからない。まずは特許庁の方に来ていただいて話をうかがうと、同じ地元で最も参考になる地域団体商標登録が、豊岡のかばん組合だということ、数名で話を伺いに行きました。

そこで、色々な知識を得ることが出来、こういう形で進んだらブランド化ができるんじゃないかということが分かった。それから何度も会議を重ねて、「100% made in 長田」の靴を作ろうということになりました。

委員会でマニュアルを作って、品質基準を作って、分科委員会でOKになった商品を「神戸シューズ」として認定することになりました。平成23年までは神戸、東京、大阪、京都、各地で告知すること、「神戸シューズ」のPR事業に専念しました。

新良 どんなPRでしたか?

新井 消費者向けのPRで、多くの靴を展示し、来場者の方にはアンケートに答えてもらい、アンケートにご協力いただいた方には抽選で靴をプレゼントするなどしました。

平成24年3月、神戸市の外郭団体である「くつのまちながた神戸(株)」の



長田の“靴”を全国ネットのスターに

プロデュースにより、大丸神戸店から「神戸シューズ」の販売をしませんかというお話をいただいた。これはチャンスだ!ということ、でPRを兼ねて販売しました。

神戸シューズブランド化運営委員会 で定めた品質基準をクリア

新良 長田でつくった靴で、これが「神戸シューズ」、これはちょっと違うところはどこですか?

新井 難しいんですがね。まずメーカーさんに委員会に入ってもらわないとダメなんですね。認定できるかどうかを委員会と専門の外部の検査機関に出します。そこでOKなら認定しています。

新良 良い品質だということですね。

新井 そうです。検査機関のテストをクリアできた靴を「神戸シューズ」としてどんどん登録しています。

新良 「神戸シューズ」であるなら、安心して買ってください。ええもんです!ということですね(笑)

日本人の足に合う靴型で履きやすい

新井 一番の特長、海外製と違うのは、日本人の足にあった靴型で、なおかつ履きやすいということですね。

中底だとか、本底だとかは海外の物とは違います。底材ならノンスリップが求められるなど、いろんな機能性を高めながら、開発しているところです。

新良 日本人と外国の方は足の形がずいぶん違いますか?

新井 たとえば足指ならば、日本人は短い。外反母趾の人も多い。欧米人に比べたら足幅もちょっと広い。

新良 そうですよ。シンデレラみたいな靴は履けないですから(笑)

新井 あんまり細くてもダメですけど、少しワイズを加え、履きやすさの工夫を日々行っているわけです。

新良 オシャレな感じがいいけど、毎日履ける靴じゃないと困る(笑)

新井 それで価格がお手頃やと。

新良 たまんないです(笑) 見た目がいい靴と履いて楽な靴は違います。

新井 欧米人などはスニーカーで、会社に入って履き変える。通勤は、パンプスはしんどいという方が多いです。今はだいたい楽な靴が出てきましたけどね。

「神戸シューズ」でお気に入りの靴が見つかる

新良 理想は今日のファッションにピッタリのおしゃれで気分が上がって、履きやすい靴。これからは「神戸シューズ」で見つかるよ!近道よ!ということですね(笑) お気に入りの靴を履いていたら、気分が華やかですもんね。



神戸シューズ®

サンナイト株式会社「神戸シューズ参加企業」
代表取締役 新井 康夫
神戸市長田区細田町2-1-22 TEL.078-691-3113
URL/ <http://sunknight.jp/company/>

インタビューー

新良 恵子(ケーちゃん)

毎日放送「こんちわコンちゃんお昼ですよ!」リポーター
ラジオ関西「いまいち萌えないラジオ」パーソナリティ



新井 でも自分に合う靴を探すまで、ブランドやメーカー、気に入ったデザインに出会うまで、なかなか時間はかかるよ。

新良 お気に入りの靴に出会えるコツとかあるんですか?

新井 僕が教えて欲しいです(笑) 専門店へ行くのがいいでしょうね。ファッション系で全国展開されているのはエスベランサさん、R&Eさん、アカクラさんなどいろいろあります。専門店はある程度われわれの商品をたくさん扱ってくださいます。

大手百貨店では消費者の年齢層が高いこともあって、皮革が中心。ケミカルシューズはなかなか扱ってくれなかった。しかし平成24年3月の「神戸シューズ・フェア」の打ち出しが良かったのか、1万円もしないという値ごろ感があって、履きやすいということで百貨店の販売業績が良かった。

平成26年8月20日からは大丸松阪屋百貨店のオリジナルとコラボ。『Dixsept Dixsept』というブランドを、「神戸シューズ」のメンバー8社でブランディングしています。他に楽天でも「神戸シューズ」をインターネット販売もしています。

新良 お店に行って「ええ、神戸シューズ置いてないんですか?」と言ってもらったら、もっと広がりますね(笑)

新井 そうそう(笑) そう言ってもらうのが一番ありがたい(笑) どこで買えますかという問い合わせも、結構来ていますね。

新良 履いてみたいですね。

神戸シューズ 専門店1号店を地元へ

新井 次のステップとして、神戸に神戸シューズ専門店を出店したいと思っています。東京はどうかという話があったんですが、第1号店はやはり地元につくりたい。来年か再来年には出店したいと考えています。

新良 その日は近いですか?

新井 地元の行政にもいい場所を貸してほしいと願っています(笑)

新良 「神戸シューズ」は浸透しつつあるので、みなさんが求めてくれると、買える場所が増えますね。

新井 組合全体の大きな事業として、1号店を三宮に出したいですね。

新良 それだけこだわって妥協せずにつくって、お手頃価格やったら儲からへんのでは...

新井 あんまり儲かりまへんな(笑) 売れなあかんから、もっと魅力的にしていかなないと。今の消費者はシビアで、余計な物は買わない。自分が本当に気に入っている物にしかお金を出不さいという傾向が強い。

新良 靴屋さんに行くと、いろんな商品がズラリと並んでいるわけですが、これぞ「神戸シューズ」という見分け方があるんですか?

足を入れてはじめてわかる良さ

新井 一般の消費者の方が見てわかるでしょうかね...まず、底を見ると「made in japan」が打ってあるので国産かがわかる。中底のクッションなどは、履いてみてはじめてわかるのではないかと思います。何人もの日本人に履いていただいたデータを元に、クッションを厚手にしたり、前だけに入れたりなど、さまざまな工夫をしています。ヒールの高さがあっても、ずいぶん楽らしいですよ(笑)

新良 では最後に、新井社長にとって「神戸シューズ」とは?

新井 「神戸シューズ」は、まだまだデビューしたばかりで、これから大きく育てていくところです。いずれは全国ネットのスターへと成長させる大きな使命を抱えています。





外反母趾の方、必見！ 幅6Eまでと、豊富なバリエーションは長田だからこそ



株式会社エレーヌ 代表取締役専務 時見 弘

欧米での靴文化の歴史は500年以上とされています。しかし、日本では明治の初期頃からの浅い歴史しかなく、靴や足の正しい知識がまだまだ持てずにいます。欧米では家の中でも靴を履く文化と、日本では外出時しか履かない文化の違いでしょうか！足型が真直ぐに近い欧米人、くの字に曲がっている日本人と比較も出来ます。日本ではブランド志向から欧米の靴が好まれてきましたが、誰の足にもジャストフィットするとは言い難いようです。

日本人の足に合う、ちゃんとした靴を履いて欲しいと構想して約7年。外反母趾の婦人靴を開発し、4年前から「時見の靴」の直販をスタートしました。足長と足囲と足幅は外反母趾特有の足型を作り、カカトの幅と大きさなどは日本人の平均で作っています。

既存の足型からデザイン、サイズ、足囲、色等を選ぶセミオーダーです。サイズは21.0cm～25.5cmで、足囲は3Eor4E～6Eまで、ひとつのデザインで3つ～4つの幅を揃えています。

1つのデザインでこれだけのバリエーションが！これならサイズピッタリの靴が見つかるな！

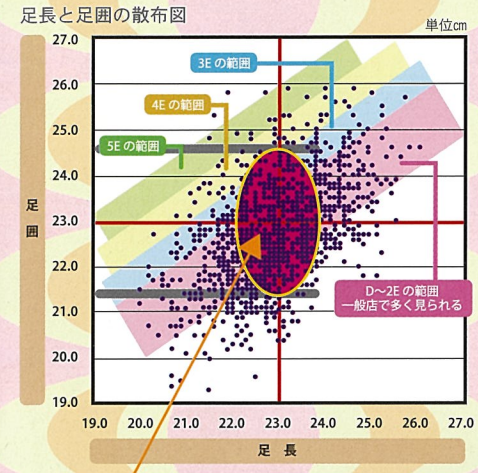


時見の靴作りはお客様一人一人との会話を大切にしています。

- ① 自分で足のサイズを測定
- ② 電話で注文の際に、足の悩みなどの細かなカウンセリングを実施
- ③ 近いと思われるサイズの靴を数足サンプルとして送付
- ④ 電話で2回目のカウンセリングを実施し、注文を確定
- ⑤ 注文から1か月で送付

手間と時間をかけて足に合う一足を作ります。

足にフィットする靴を選ぶ



足が痛くなったり、外反母趾になるなど、足のトラブルの原因のほとんどは、足のサイズと靴のサイズが合っていないから。足の長さが23.0cmの人たちの中で、足周りに約30mmもの差が出ているのです(図)。自分の足長、足幅、足囲を知ることから、快適な靴選びは始まります。

足が疲れやすいですか？
靴のサイズは合っていますか？



正しい足の計測から、 良い一足に出会える



両足立ちで、両足に体重をかける。
壁にかかとを付け、一番長い指先までまっすぐに測る。



親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分まで直線で測る。
親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分までぐるっと一周測る。

一般的に流通している靴はD～2Eがほとんどで、計測すると下図のような足幅の場合、無理して靴を履くと、痛みや疲れの原因となります。健康のために靴は、自分の合ったサイズを選ぶことが大切です。

一般に販売されてない横幅(23.5cmの場合)



被災地労働者企業組合がつくった、 ナースに大人気のシューズ

長時間立ち続ける看護師さんたちに評判のこの靴には足が疲れにくい秘密があるらしいぞ



阪神淡路大震災で職を失った、ケミカルシューズのミシン工や貼り子たち自らが、1996年に「被災地労働者企業組合ワーカーズコープ」を発足。長谷川正夫理事長はドイツのシューマイスターの資格を取り、約1500人の足のトラブルの相談を受けたところ、7割近い人が看護師であることが判明。

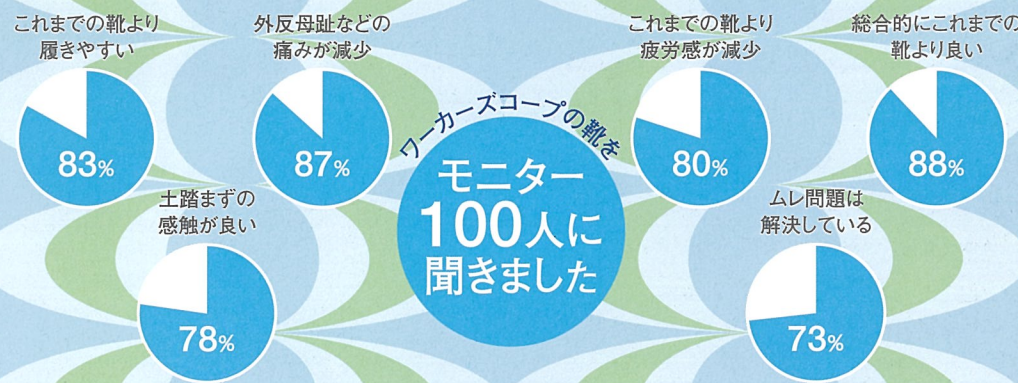
震災時にたくさんの命を救ってくれた看護師さんたちへのお礼も込めて、ナースシューズづくりに着手した。

ドイツ健康靴のノウハウを基礎に、1000人近い足型を採取し、独自の足底板を開発。日本人に合わせた、アーチのあるカップインソールが特長の、一足、一足をスタッフが真心を込めて手作りしている。



健康な足のアーチを保つ足底板
たてのアーチサポート
土踏まずを下から支え竹踏み効果で足の疲れをいやします。

よこのアーチサポート
外反母趾に有効



障害やリハビリ用の 長田ならではの特別オーダー



デザイナー出身の店主、西田葉二さんがシューズプラザにデザイン事務所を構えて14年。靴が足に合わないという相談を受けるうちに、完全オーダーの靴をつくるようになった。好きなパンプスをもう一足から、リハビリ用の靴、インソールまで、幅広く手掛けている。

お客様の要望を知るためには話を聞くことが肝心で、足の障害などの特殊な場合は、カウンセリングに2時間ぐらいかかることも。受注したら試作品をつくり、修正を加えていくのだが、こだわりが強い場合は、完成までに1年掛かることもあるという。

くつのまち神戸長田から発信する「足にやさしい靴づくり」が評判を呼び、日本全国から注文が寄せられている。



完全
オーダーメイドで
どんなトラブルにも
対応して
くれるんだ



なんて
カラフルなんだ！
色も形も
思いのままに
出来上がる
みたいだ

オーダーメイドシューズ
アトリエ・ヨージ



店頭で靴の
製造工程が
眺められるのも
快足館の
魅力ね！

最新テクノロジーを 駆使しながら長田で培った技が光る



45年ファッションシューズに携わっていた松田環代表は、震災後、問屋からの注文で製造する長田の靴づくりに疑問を持った。お客さん一人ひとりが欲しい靴をつくる店ができたならおもしろいのではと、2000年にスタート。マンツーマンで応対して、外反母趾やウオノメ、左右の大きさが違うなどのトラブルを知り、お客さんに教えられながら、靴がつくられていった。

歩行バランスと足裏圧力をコンピュータで科学的に解析し、足裏に合うオーダーメイドインソール（足底板）の作成。足当たりがやわらかく、軽い靴を手づくりする「リッツコンフォート」と、ドイツの製法で足の裏のアーチに着目した「フィンコンフォート」。兵庫県工業技術センターとの共同で外反母趾矯正サンダルも開発している。



足裏にはじん帯に
支えられた衝撃を
緩和するアーチがあるのよ。
なくなると膝や腰の
トラブルにつながるため、
インソールを入れて
足裏を持ち上げるのね

あれ
足底のインソールと
甲の両側からの
フィット感が自慢の
メンズラインも
あるぞ！



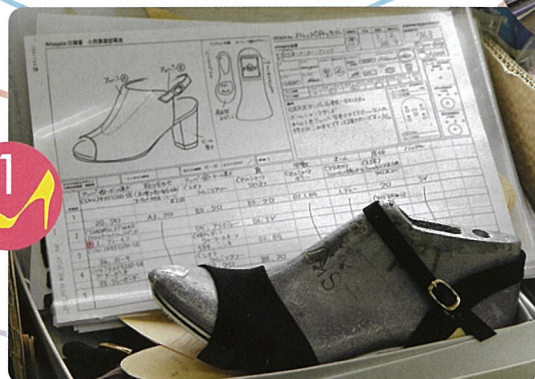


職人達の取組み ～ひとつの靴ができるまで～

靴づくりはデザインからスタート。
裁断やミシン縫製で甲皮、中底と靴底づくり、
糊引き、底付け、仕上げまで、多岐にわたる
作業をシューファイターたちがご案内。



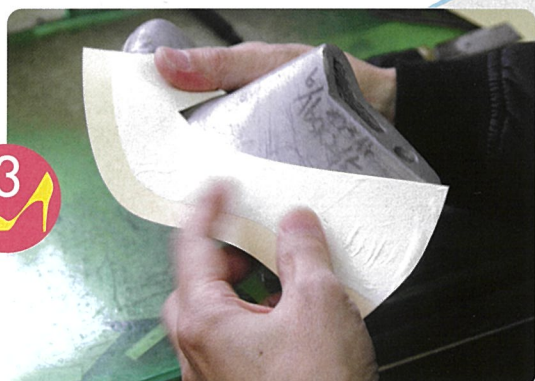
職人さんの
道具は多彩。
手前の個性的な
小刀は
断ち包丁といい、
イチ切りをする道具



まずは、デザインに合わせてサンプルづくりから



立体的な靴型にデザインシートを貼ってペンで
デザインを描く。予想以上に難しい作業で、
きれいなラインはもちろん、いろんな角度からのチェックも必要



不要な部分を除きながら、各パーツにカット。
センターを引いて、紙型をつくります



紙型を素材に当てて、ラインに沿って小刀一つで美しくカット。
「同じパターンでも素材によって、
仕上がりはかなり異なります。バランスを考えながら作業を
進めますが、その感覚は、師匠に教わりながら、
自然と身に付いたものですね」と
この道30年以上の三原さん

右手首に巻いて
あるものは
何に使うの
かしら？



アイデアルテブといい、靴の履き口を折り込んだ後
折り込みに沿ってはります
これは靴の伸びを防止するためのものです



裏地と合わせ縫いながら、甲部分を仕上げます



型を当てて一気に裁断。この道30年の木田さんは
「最初の工程なので、なにより間に合わないといけない。
材料の色ブレにも気を使います。流行に左右される
ファッションシューズなので、デザインだけでも
100種類以上手掛け、仕様書の管理も大変ですよ」



職人の9割が女性の縫製は高齢化が
課題といわれています。「最初は難しかったのが3年ほど
で慣れていきました。デザインや素材で、縫いにくいものが
出てきます。薄い素材はやりづらいですね」と
この道25年の加古さん



続くは吊り込みといわれる作業。靴型に中底、
甲部分をはめて底部の周辺を引きのばし、
靴型に合わせて周囲を糊で止めていきます



オッ!!
だんだん靴らしく
なってきたぞ



底付けの後、ヒール打ち機でヒールを釘止めします



いよいよ製品仕上げに突入です



中敷きを入れて、糊が付いていないかどうかをチェックし、
箱入れしていきます



「毎日7～8社の20種類くらいを取り扱っています。
メーカーのネーム、型番も違うので間違えないように気を
付けています。夏はサンダル、冬はブーツと
大小さまざまな、5～6人で約800足を仕上げています」

コロコロ
チェックポイントは？



多くの職人さん
たちによって
素敵な神戸の
靴が作られて
いるんですね



Shoes town NAGATA MAP

13

デザイン性が高く、履き心地のいい
足にやさしい靴づくりは
どんどん進化を遂げていきます。
これからも「くつのまち長田」に
ご注目ください!



長田・未来ガイド誌 [nannan] 特集号

監修・発行／長田区役所 協力／長田区民まちづくり会議いきいき部会
編集／KOBÉ鉄人PROJECT 〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1-1アスタくにつか4番館4F
神戸市広報印刷物登録 平成27年度第110号(広報印刷物規格A-1類)